

教育民生委員会

教育民生委員会では、去る9月27日・28日につくば市立春日学園、日本赤十字社茨城県支部、いわき市の社会福祉法人やしおみ荘の視察研修を実施しました。

つくば市立春日学園では、つくば市で初めての施設一体型の小中一貫校として、平成24年4月に開校し、義務教育の9年間を一環した教育課程と捉え、子どもたちの発達段階に適した指導を実施して行くため小学校・中学校教職員がともに指導することのできる4・3・2制を取り入れています。

施設は、1～4年生、5～7年生8～9年生と3棟に分かれおり、発達段階に適した構造となっています。また、特別教室棟では小中併設のメリットとして、コンピュータ教室や理科室等ほとんどが2教室用意されており、同時に多くの児童生徒が利用可能となります。

コンピュータ室には固定端末の他タブレットPCと電子黒板が設置されており、校庭や校外に持ち出しても移動利用が可能となっています。

メリットの2としては、大きなグラウンドが設置されており、400mトラックを有するメイングラウンドとサッカーなどに対応できる低学年用のサブグラウンドが整備されています。

その他、屋根付のプールや屋内体育館は1年生から9年生までが共同利用し、コストの削減に繋がっています。また、施設にはエコスクール化を実現し、太陽光発電パネル（60KW）や太陽熱温水パネルが設置され、常用電力や空調等の熱源に利用されており、自然エネルギーの積極的活用を図っています。

メリットの3としては、小中教員の兼務発令により専門性を発揮できる学習を実践しており、例えば、理

科の授業などで中学校配置の専門教員が小学生の授業を行うことができるなど、より専門性の高い授業が受けられる内容となっているとのことでした。

次に、福島県いわき市の社会福祉法人誠心会「やしおみ荘」における要保護者の救護活動状況についてですが、この施設は生活保護法による救護施設として位置付けられており身体や精神に障害を持ち、経済的な問題を含めて日常生活を送るのが困難な方々が、健康で安心して生活していたりするための生活保護施設として運営されています。

また、この施設を利用できる方は他の障害者福祉施設等と異なり、18歳以上であれば障害の種類に制限はなく、困っている方であれば誰でも必要なときに利用できる施設で、定員は80名ですが最大88名まで受け入れることが可能とのこと、現在85名の方々が利用しております。

近年、利用者の高齢化が進み対策を迫られているとこのことで行政と相談しながら特老施設への切り替えも視野に入れ、対応をしているとのこととです。

このほか、日本赤十字社茨城県支部における災害救援活動についての視察研修を実施してきました。



つくば市立春日学園にて

産業建設委員会

産業建設委員会では、去る10月16日に「北関東自動車道みぶパーキングエリア」と「道の駅しもつけ」についての視察研修を実施しました。

北関東自動車道壬生パーキングエリア「みぶハイウェイパーク」は、ネクスコ東日本が事業主体となり、パーキングエリアの整備事業としてトイレ及び駐車場の整備をし、壬生町が事業主体となった地域交流拠点整備事業の二つの事業により4.1ヘクタールの整備がされました。ネクスコ東日本が施工したパーキングエリアは、上下線集約型のパーキング整備事業として、平成20年12月に「壬生PA」として供用開始がされました。また、壬生町が事業主体となつた地域交流拠点整備事業は、栃木県が平成12年に供用開始し、「とちぎわんぱく公園」（37.2ヘクタール）及び壬生総合公園（15.2ヘクタール）との共存として道の駅「壬生」を計画し、平成20年度より造成工事及び展示休憩、情報交流、農産物及び物産品の売店等の地域交流拠点施設の工事を開始し、平成21年10月に「みぶハイウェイパーク」として供用開始がされました。なお、事業費につきましても、約14億円で、財源は交付金事業などの国庫補助金及び起債等で充当されたとのこととです。

施設の利用者は、平成21年10月の供用開始から本年9月末現在で、約6百33万6千人が利用しているとのことと、売上げについては、平成23年度は約5億円となっているとのこととです。施設の管理については、展示休憩、情報交流施設は県、農産物及び物産品の売店等の地域交流拠点施設については町が管理しており町の管理費は平成23年度で約5千万円となっているとのことでした。

次に、「道の駅しもつけ」につい

てですが、新4号国道小山石橋バイパス線に敷地面積3.3ヘクタールを平成18年度から平成22年度の3カ年で国土交通省が休憩施設、下野市が地域振興施設の整備を一体的に実施しました。用地については、土地改良整備事業にあわせて、創設換地として確保され、休憩施設は、国土交通省宇都宮国道事務所が事業主体で、1.4ヘクタールの敷地にトイレ、情報発信施設、駐車場等を整備しております。

また、地域振興交流施設として、下野市が事業主体で、1.9ヘクタールの敷地に農産物等の物産販売施設やレストラン、会議室、イベント施設物見塔、駐車場、公園施設等を整備しており株式会社道の駅しもつけを指定管理者として管理運営をしているとのこととです。



みぶハイウェイパークにて

行政改革特別委員会研修会

当委員会では、去る12月5日に牧瀬稔氏を講師に迎え「行政改革と定員管理」についての研修会を実施しました。

行政改革とは、時代に即した行政需要に正確に対応し、住民サービスのより一層の向上を図るために、組織・制度や行政運営のあり方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図っていくことであり、この研修の

第1回定例会のお知らせ

平成25年第1回境町議会定例会は、平成25年度の予算が審議される議会です。日程は、下記のとおりです。

3月 6日(水)	本会議（開会、提出議案上程・説明）
3月 7日(木)	本会議（一般質問）
3月 8日(金)	本会議（一般質問）
3月11日(月)	予算特別委員会
3月13日(水)	予算特別委員会
3月14日(木)	常任委員会
3月15日(金)	本会議（採決、閉会）

成果を今後の行政改革特別委員会の中で役立てたいと思います。
（研修風景は、表紙に掲載）

議会を傍聴してみませんか

皆さんの身近な問題が審議されますので、ぜひお越しください。

3月定例会は、3月6日(水)～15日(金)までの予定です。

問い合わせ先
議会事務局 TEL81-1316

広報編集委員会

委員長 濱野 健司
副委員長 飯田 進
委員 内海 和子
委員 田山 文雄
委員 渡邊 昇